

〒100-0005 東京都千代田区丸の内3-6-5

TEL 03-3201-0350 FAX 3201-0351

Eメール jrtoukairou@yahoo.co.jp

2020年  
3月15日  
第424号



# JR東海労



http://jrtoukairou.sakura.ne.jp/

JR東海労働組合

発行人 木下 和樹  
編集人 高山 浩

## 春の闘いを職場からつくり出そう！ 各地本定期委員会が成功裡に終了



新幹線地本は2月23日、大崎第一区民集会所で第25回定期地本委員会を開催しました。杉澤委員長は「コロナウイルス問題で、会社は当初マスク着用を認めなかった。新幹線関西地本の仲間が赤羽国交大臣の事務所に行つてから会社の態度が変わつた。JR東労組の東京、水戸、八王子地本の一部指導部が『JR東日本運輸サービス労組』をつくつた。彼らは、新しい組合に来るか、JR東労組に残るか、脱退するかだと三択を迫つた。労働組合のオルグではない。4月から新し

### 新幹線地本第25回定期委員会

各地本は2月下旬、それぞれ定期地本委員会を開催しました。第33回定期中央委員会で確認した賃金引き上げ・夏季手当満額獲得をはじめとする春の闘いについて、各地方で確認すると共に、具体的な職場での闘いの方針を確立しました。特徴的なのは、JR東労組の分裂を許さず仲間と連帯する闘いを意思統一し、この間の職場での闘いの成果を確認しました。

い人事賃金制度が始まる。私たちは労働協約を破棄して闘っている。今は後節々で闘いをつくる。年休抑制、一方的休日出勤の闘いで職場は劇的に変わった。診断書強要中労委は勝利の展望が見えている。関西の年休権裁判で、会社側弁護士はもう終わりにしたいと言っている。反論すれば矛盾が拡大するだけ。この表れが1月2月の休日出勤指定なしではないか」と挨拶しました。質疑では、「トラベルサポートセンター発足1年半、この間24名採用で13名退職した。セクハラ問題で会社の対応がつかない。3月の団体交渉で追及していく。水野さんの裁判勝利に向けて闘っていく」「診断書強要都中労委で完全勝利した。今、中労委で闘っているが、組合準備書面に対して会社は反論はしない。胜利的に進んでいる」「年休裁判等の闘いにより、25日の勤務指定で年休発給と予備月の勤務指定を勝ち取った。原告組合員の年休申請に対して、会社



静岡地本は2月27日、静岡労政会館で第29回定期地本委員会を開催しました。半場委員長は「コロナウイルス対策のマスク使用で、名鉄では点呼時も着用している。JRとは扱いが違う。静岡独自の闘いとして、規程の訂正時間を労働時間とする闘いを始めた。超過勤務申請簿を提出したが返され

### 静岡地本第29回定期委員会

伊藤書記長は、総括答弁で「JR東労組の分裂策動で、私たちに何がで

たため、苦情申告を行つた。今後も具体的な闘いを展開していく。JR東労組の東京、水戸、八王子地本の一部指導部が脱退した。許してはならない。静岡県協の仲間と共に闘っていく。本部山本副委員長が些細な事象で乗務停止となり、会社からのパワハラに抗して闘っている。地本は抗議の申し入れを行った。管理者の態度が一変した。リニア中央新幹線建設で、国、県、JRの三者会談が開かれたが、JRの説明は曖昧とされた。建設には反対である」と挨拶しました。

きることか考えた。裁判闘争で勝ち得た成果を確認しよう。水野裁判では、水野さんの受けたパワハラが鮮明になった。こうしたことを他労組組合員に訴えよう。関連会社の労働条件の改善を求めて、3月3日にSMTと団交を行う。会社のミスで年休が出なかった問題で、地本は申し入れを出しました。闘う姿勢を示

質疑では、「コロナウイルスに感染した場合、感染の恐れがあり病院に行けない場合など、賃金などの生活を保障すべき。点呼時もマスクをすべき」「規程訂正時間の問題で、苦情処理会議

を行うことができたのは、診断書強要都中労委・中労委の闘いが胜利的に進んでいるからである」「RVSを口実に、支社から現場社員の接客態度を監視にきている」などの発言が出されました。渡辺書記長は、総括答弁で「一方的休日出勤反対の闘いや年休裁判の闘い、年休権裁判の闘いは、まさに労働組合の必要性・重要性、運動の正しさが再認識できる。働き方改革として、従業員代表の法制化を図っている。法制審議会の委員長は、JR東日本の富田元社長である。JR東労組から脱退した人たちがパイパンでいる状況が権力の意図においてつくられている。地本旗開きの講演で、松山さんは『無駄だと思つてもやる』と言つていました。申し入れをしても改善されない。改善されないからといって無駄ではない。我々の主張を情宣活動により会社、他労組に示そう。規程の訂正時間を労働時間とさせる闘いを進めている。駅での訓練時の移動時間についても、同様に闘いをつくる。JR東海ユニオンのように、労働組合が会社の代弁や労務管理をするのではなく、労働組合は労働者の立場に立った活動をすべき」と訴えました。

【名古屋地本と新幹線関西地本は2面に掲載】

### 名古屋地本第30回定期委員会

名古屋地本は2月26日、牧野コミュニケーションセンターで第30回定期地本委員会を開催しました。上田副委員長の開会で始まり、議長に伊勢運輸区分会東委員を選出しました。来賓として、本部下委員長、加藤組織担当部長、松山特別執行委員、鉄道ファミリー加藤担当部長が出席しました。



荻野地本委員長は「新型コロナウイルス感染症の対応で、社員より世間体を気にする会社の姿勢は問題だ。そうした中で、マスク着用を認めさせた。JR東海ユニオンが成果だと盛んに宣伝しているが、問題は働く者が働きやすくするためにどうするかだ。これまでの会社との対応を見れば誰かが分かっていて、『新しい人事・賃金制度等』の見直しについても、あ

まりにも現場の社員が報われない制度だ。解決するまで取り組みを強化していく。また春闘が崩壊していく中で、私たちは、2020JR総連春闘として労働組合らしく闘っていく。集中旅客サービスが拡大されようとしている。安全面や体の不自由な方の対応など、問題

### 新幹線関西地本第25回定期委員会

新幹線関西地本は2月24日、吹田サンクスホールで第25回定期地本委員会を開催しました。

荻野委員長は「コロナウイルス問題で、業務中の着用を認めさせた。日々疑問を呈しながらやってきた成果である。『新しい人事・賃金制度等』の見直しは未妥結である。様々な労働条件改善に向けて闘いを進めている。団交員と共に進んでいく。一方的な休日勤務指定反対の闘いで、予備月の行路発表などの成果を勝ち取った。他労組からの共感を生み出している。さらなる闘いを進めて行く。れいわ新撰組・木村英子議員の事務所を訪問し、障害者スペース確保が十分ではないと議論してきた。また、国交大臣の事務所も訪問した。さらに、ワーキンググループに参加している

を解決するため奮闘する」と挨拶しました。質疑では、出向先や運転職場の問題など職場の問題点が多く出されました。とりわけ運転職場では、高齢者の労働のあり方などの発言がありました。

御辺書記長は、「職場で発生している問題の解決に向け、闘いをさらに強化していく」と総括答弁を行いました。



DPI事務所を訪問した。活動を通じて『職場で生じている問題を教えて欲しい』と言われている。車いす問題に矮小化するのではなく進めて行きたい」と挨拶しました。質疑では「年休権共同本人訴訟を立ち上げた。大谷川さんの裁判と併せて取り組んでいる。勝利宣言を出した」「東労組から分裂した組織を糾弾

する」「出向先の組合掲示板を獲得に向けて奮闘していく」「訓練5分前集合というサービス労働撲滅に向けて、労基署への相談やアンケート調査を行った」「車内点検、特大荷物事前予約制で車掌・列車長が労働強化される。3名乗務に戻すために闘おう」「寄本さ

ん、池田さんの加入で自信をもらった」などの発言がありました。浦谷書記長は「車いすの問題について、れいわ新撰組・木村英子議員事務所を訪問した。抵抗とヒューマニズムの闘いである。車掌2人乗務は効率化の極みである。闘いを進め、再度訪問したい。

民間の仲間から、落合恵子さんの講演会参加要請があり参加した。茹でガエルの話を具体的に話さ出ていかなければならない」と、総括答弁を行いました。

今委員会で、水野さん裁判に対するカンパを行いました。提出しました。この5項「車内業務で不特定多数のお客様と接する機会が多い対面改札について、在来線・新幹線共に中止すること」の要求が実現しました。

# 『申第19号』『申第24号』の一部 要求実現!

## お体の不自由な お客様の予約改善

3月の新幹線運輸所営業訓練で、「現行11号車12番A B席、13番A B席(特定席)は、当日のマルスオープンから発売していたが、3月14日(ダイヤ改正)からマルスオープンを取りやめる。当日、乗車されるお体の不自由な方の対応のため、乗車されてきた場合、車掌がマルスに連絡して座席確保することとなる」と説明がありました。

12月3日に行われた参議院国土交通委員会における、れいわ新撰組木村英子議員の一般質問などに関する申し入れ(『申第19号』を提出しました。この3項「11号車12番A B席、13番A B席については、常時において車いすなどお体の不自由なお客様の専用席とするため、当日の一般販売はやめること」の要求が実現しました。

提出しました。この5項「車内業務で不特定多数のお客様と接する機会が多い対面改札について、在来線・新幹線共に中止すること」の要求が実現しました。

## 新幹線自由席の 車内改札「当分の間中止」

会社は2月29日、東海道新幹線自由席の車内改札を「当分の間中止する」との掲示を掲出し、乗務員に周知しています。本部は2月17日、コ

## はんこ貸与、浴室使用可 一部要求勝ち取る! SMTと団体交渉

新幹線地本は3月3日、東京トラベルサポート事業所の抱える諸問題

の解決に向けて、新幹線メンテナンス東海株式会社(SMT)と団体交渉を開催しました。その結果、業務で使用するのはんこ(シヤチハタ)は会社で購入し貸与することになりました。また、寝室の清掃関係について、「枕は3月に交換する予定。布団は4年毎に交換している。布団乾燥は1ヶ月毎に行っている。清掃の件は、ファシリテイに伝える」と回答しました。業務終了後の浴室(シャワー)が使用可能になるなど、一部の要求を勝ち取りました。